九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[007]史淵表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/2344426

出版情報：史淵. 7, 1933-06-30. Faculty of Law and Letters of the Kyushu Imperial University
バージョン：
権利関係：

彙報

九大史學會大會

本會第五回大會は今年五月七日風薫る初夏の日曜を卜して例年の通り開催された。以下當日の模様を略報する。

一、展覽會　福岡市内官幣小社住吉神社社務所に於て午前十時より正午迄主として同社所藏の古文書寶物類を左の通り供覽した。

一、古文書　二卷
一、松花和歌集卷五戀の部（永亨年中勅賜）　一卷
一、天正十五年七月十二日住吉神社社領目錄　一通
一、元祿九年九月朔日奉納住吉宮緣起　一卷
一、天保三年辰正月筑前國筥崎住吉宇美三社朝廷に奉りし訴狀（横田家所藏）　一通
一、銅劍　六本
一、銅鉾　五本
一、古面　一個

二、講演會　福岡縣教育會館に於て午后一時より長教授司會の下に開會、講演要旨は左の通り。

松浦海賊について　長沼賢海教授
附、博多の女浚ひ

講演内容は本輯所載の論文「元寇と松浦黨」と重複するところあるを以て省略する。

文藝復興期の三醫人　小川政修教授

廣義の所謂文化に關する事蹟には、何れの時代を見ても、其の時代精神が反映して居る。古代ギリシヤ、アレキサンドリヤの醫學も其の文學、美術と同樣、時代精神と關係があり、ヒポクレトスの繼承者、諸種の學說の統一者であるガレノス（Galenos）の體系も、同樣であるのを見る。彼の體系は、ルネサンス以後、アラビヤ醫學が隆盛を極めても尙繼承されたが、ルネサンスの諸原因が、同時に、醫學改革の原因となり、そこに新らしい研究を見るに至らしめた。即ち、アラビヤ醫學の傳統、習慣の打破、ギリシヤ醫學への復歸の高調は、アラビヤ、ギリシヤ兩醫學の抗爭を出現せしめたが、此の中にあつて、自由思想、批

判觀察、經驗を基調として、醫學の本質を發揮したが、ルネサンス醫學で、それは、次の三大醫人によつて具體化された。

獨逸系和蘭人の解剖學者 Andrea Vesalius (1514-1565) は、ギリシヤ醫學の領域を尙脱出し得なかつた當時の解剖學を、勇敢に批判して、後世に大影響を與へた新しい解剖學を誕生せしめた。そも〳〵、當時は、動物解剖學が主で、人體のそれは閑却されて居た。之に不滿であつた彼は、死刑囚の死體の利用を思ひ附き、死刑の時機、方法等迄、裁判官に依賴すると云ふ樣な苦心の研究をした。此の結果、從來、神聖視されたガノレスの解剖は、單に動物の解剖を人體に移したに過ぎぬ事が發見された。これは、有名なる「大解剖學」の著述の機緣となつた。近世醫學史を飾る此の大著も、當時は、世に容れられず、却つて、宗教裁判に附せられた上に、彼は其の爲、狂人扱ひを受けたのであつた。一五六五年、エルサレム巡禮中、パドア大學に招かれ、其の赴任の途、ギリシヤ沖で難破し、それが原因となつて病死した。

Paracelsus (1493-1541) は其の父も醫者であつたから、自然、科學的の教育を受けた。最初、バーゼル大學で、次で、チロルの鑛山で、化學分析、實驗及び鑛山病の研究に沒頭した。後、彼は諸國を遊歷して、學者を訪ねる外に、民衆と接觸して其の研究を深めたが、一五二六年、バーゼルの教授と市醫に任命された。然し、元來が、尊大な所があり、殊に、大家崇拜の態度を難じて居た。其の著「アリストートルの大略」は、從來の型通りの醫學を打破して、且つ、獨自の經驗と見解とに立脚して、書いた大著である。彼は、ルーテルが、宗教改革者である意味に於いて、醫學界の改革者である。即ち、講義に日常の獨逸語を用ひてラテン語を排した。然るに、因習と傳統を破つた事は、却つて、批難を招き、異端者を以て遇せられるに至つた。殊に診療費に絡んで訴訟事件後は、又遊歷の旅に上らねばならぬ樣になつた。彼の著書には、醫學の發達を計る革新氣分とルネサンスの精神が、充滿して居る點からして、醫學上のルネサンスの元祖と呼ばれて居る彼は、新プラトン說に立脚し、人と宇宙、小宇宙と大宇宙間の平行類似の想像說によつて、先驗的體系を完成した。人間の身體は、外界の總ゆる事物と關係を持ち、病氣は天氣に關聯する處が多く、又天文、鍊金術は人體と自然認識の中心であると云ひ、又新陳代謝と病源の關係を科學的に說明したが、此の最後の說明は現代の醫學說と一致する處である。

Ambroise Paré (1510-1590) は佛蘭西の一小村落に生れた人で、始め、理髮師の徒弟となつて居たが、後、民間の外科醫となり、外科手術を以て有名になつた。彼は自由な自然觀察者で、彼の仕事にも、ルネサンスの精神が、濃厚であるのを吾人は見受ける。彼は理論よりも、經驗を第一となし、經驗こそ、吾人に確信を與へ得るものであると主張した。前の二者は、ガノレスの誤を指摘して醫學上の

改革を行つたのであるが、彼は、經驗を治療改革の基礎であるとした。麻醉劑を用ひない當時の事故、外科の療治には、多くの困難を生じたものであるが、然るに、大動脈を結束して、出血を有効に止める止血法に於ける彼の發明は、大手術を可能ならしむるに至つた。彼は、其他、技術上にも種々な發明をして、大いに貢獻する處があつた。

三、晩餐會　前記教育會館別室に於て午后五時より開く、食后左記の如き研究發表があつて八時散會。

一、福岡縣下天然紀念物調査旅行談　川上市太郎氏
一、橘廣庭宮の趾について　玉泉　大梁氏
一、高良臺の遺物について　伊奈　健次氏

かくして本年度大會も無事完了した。展覽會場として社務所の一部を解放し、秘藏の記錄文書寶物等の陳列を快諾され、各種の便宜を與へられた住吉神社に對し、又折角の日曜に拘らず講演會に快く御出講下さつた醫學部小川政修教授に對し末筆ながら深謝の意を表する。殊に同教授の講演は幻燈の使用に依つて、一層の興味と理解の便宜を加へられる筈であつたが、會場の都合でその設備をなし得なかつたことは頗る遺憾であつた。一筆附言して同教授並に會員各位に斷つておきたい。（山本、鏡山、手塚）

受贈圖書雜誌

史　潮（三ノ一）　大塚史學會
史　林（一八ノ二）　京大史學研究會
史　苑（八ノ一）　立教大學史學會
國立北平圖書館々刊（六ノ五）　國立北平圖書館
史學研究（四ノ三）　廣島史學研究會
日英交通史料（一〇）　武藤長藏
本草（一一）　春陽堂
國史學（一五）　國史學會

國史例會

第二十三回例會（昭和八年五月八日）

新入生歡迎會を兼ね午後四時半より工學部中央食堂にて開く、長沼、竹岡兩先生、山本助手、鏡山、青木兩副手及專攻生一同出席、各自己紹介の後、晩餐を共にし歡談の後六時半散會す。（植松、成瀨）

國史學生讀書會

各學年合併にて毎週一回開催。既に吾妻鏡を完了し、目下「世事見聞錄」を講讀中。（成瀨、植松）

九大支那學研究會

昭和八年五月九日（火曜）午後五時半より、學生集會所第五號室にて例會開催。今回は、研究室を勇退された國行一男學士に對する慰勞と感謝の意を含む會合でもあつた。

出席者、楠本教授、井上講師及び專攻の學士、學生等都合十三名。

一、歴史上より見たる滿洲の特殊事情と清、滿洲なる名稱の由來に就いて。　川崎正男君（森住、中江）

西洋史學研究會

第一回例會（昭和八年四月二十五日）

William II の第二回トルコ訪問の一考察　湯池惟定

Gustave Lebon; Bases scientifiques d'une Philosophie de l'histoire 序論紹介　伊岐須清

第二回例會（昭和八年五月十六日）

南阿戰爭　城崎千吉郎

Donald Grove Barnes: A History of the English Corn Laws 1660—1846. Lond. 1930. の紹介　須藤章